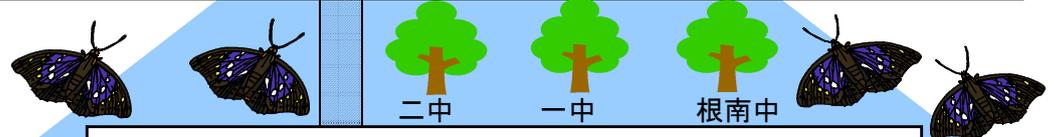


【学校教育目標】 共に学びめあてに向かう富士見っ子
～違いを認め合い 互いに頑張る～

改善 ACTION

- ◎全特別活動で、児童と共に、よりよい学校生活を指す。
- ◎職員研修で、研修の日常化を進め、よりよい授業を目指す。
- ◎4PJで、教職員の協働を進め、よりよい教育活動を目指す。
- ◎主任会で、変化する状況に応じて、よりよい取組を目指す。
- ◎PTA活動で、保護者と共によりよい教育環境を目指す。
- ◎地域学校協働本部及び学校運営協議会立ち上げを目指す。



【学校経営目標】 多様性を認め合い 資質・能力を伸ばす学校づくり

富士見小学校で育てたい資質・能力

「ゆめ6(夢を叶える6つの力)」+「児童発案の7つめの力」=「ゆめ7」

生きて働く知識・技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養	7つめの力
①生活や既習事項を生かす力	③問題解決力	⑤協働する力	⑦言葉を上手に使う力
②情報を集める力	④コミュニケーション力	⑥学びをふりかえる力	

社会に開かれた教育課程+組織力の強化

←週案簿と予定帳を活用したカリキュラムマネジメントの充実

計画 (P) LAN 実行 (D) O

豊かな心・生活向上部(徳) 「あたたかい言葉で話す子」

学力向上部(知) 「よく聴き考えを深める子」

心身向上部(体) 「めあてに向け健康な体をつくる子」

特別支援教育・ユニバーサルデザイン・生徒指導の充実→存在・行動・結果の価値付けの工夫

SDGs(環境・人権・多様性と包摂性)を重視した教育活動

ICTの活用(リアルとデジタルのバランス・家庭⇄授業)・メディアの使い方指導

【学校評価の分析】%は目標値

- ①学習・生活の満足度 95%
- ②自分の良いところに気付く 85%
- ③授業が楽しく分かりやすい 95%
- ④ゆめ6を活用した学習・生活 85%
- ⑤思いやりを活用した言葉 95%
- ⑥ルールを守る 95%
- ⑦話を聞いてもらえる 95%
- ⑧困っているとき、分からないときの支援 95%

○日々の教育活動の評価
校内研修 授業分析 一人一授業 相互参観
週案簿を活用した、教職員による自己評価
○各種アンケート分析
○参観会等での意見
○学校関係者評価

【豊かな心】

- ◎自分の目標を立て、振り返り、改善する。
- 特活・道徳・人権教育等の工夫
- オムラサキPJ(地域と連携) →生命尊重・環境教育
- 異学年交流の工夫
- キャリアスポーツの活用

核となる特別活動
自己肯定感・自己有用感を実感する働き掛け

【生活向上】

- ◎学級の目標を決め、振り返り、改善する。
- 人間関係づくりの活動
- 不登校・いじめ未然防止
- 「時間・きれい・あたたかいことば」
- 廊下の歩行の指導
- 週間予定帳の活用

【授業改善】

- ◎単元課題や目標に向け、学びを振り返り高める。
- 研修の工夫と日常化
- 「見通し・比較検討・振り返り」の研究継続
- 生き生き取り組む単元構想
- 探究のプロセスを重視したえのきタイム
- 対話力を高める外国語学習
- 1小3中学の連携研究
- スタートアップカリキュラム

【学習環境作り】

- 聴き方、話し方の徹底
- 板書・ノート指導の工夫
- 家庭学習と授業の接続
- アウトプット型家庭学習
- 学習の場としての教室整備(富士見スタイル)

【体力向上】

- ◎目標を立て、安全に運動に取り組む体育授業
- グッドモデルの提示
- 体育カード
- 熱中症と安全対策
- 体育的行事の工夫と臨機応変な対応

【健康づくり】

- ◎健康目標を立て、自分の行動や生活を振り返り改善する。
- (健康課題:生活リズムの確立)
- 食育・健康教育・安全教育
- 保健授業・行事の工夫
- 黙働・清掃スタンダード
- 家庭と連携したチェックカードの活用
- 食物アレルギー対応
- 危機管理研修

確かな学力や豊かな心の基盤となる学校図書館と読書活動

こどもの心身の健康・心の安定を支える保健室と学校保健計

事務部が支える財務・物品・施設管理・外部対応等

グランドデザイン達成のための、担任・担当の経営3本柱(●授業経営▲学級経営■分掌経営)

「OJT」「メンタリング」「コーチング」「ポジティブ・フィードバック」の人材育成システム

教職員の資質、能力の向上・リーダー層の育成・時間資源の活用・業務改善

CS 家庭・地域・富士見コミュニティとの連携
(オムラサキプロジェクト・体育館建設・PTA活動・読み聞かせ・富士見サポーター等)

検証 CHECK

外部機関との連携(相談センター・家庭児童相談室・幼保こ等)